

世界に挑戦。



ソーラーチャレンジプロジェクト Team OKINAWA

豪州大陸の南北3000kmを太陽エネルギーの力だけで縦断する世界最大のソーラーカー競技大会「ワールドソーラーチャレンジ」に、2011年10月、沖縄の若者たちが挑みました。チーム沖縄は、競技においてスタンフォード大学



に僅差で惜敗したものの、理工系大学世界最高峰のMITやケンブリッジ大を制する結果を残しました。競技車両に搭載されるエネルギーの遠隔計測・解析技術を始め、高効率なモーターや太陽電池、高いエネルギー密度を誇る次世代型リチウムイオンバッテリーとそのエネルギーマネジメントシステム(EMS)の開発など、次世代のスマート社会創造に必要となる多くのコア技術を高いレベルで融合させることのできたチームが優位になる競技です。このような競技大会は、世界的に「ブレイン・スポーツ」として認知されており、欧米においては企業による各大学への活動資金支援や、即戦力型人材採用(雇用)と密接に関わる産学連携の取り組みとして行われており、近年は日本でも実践力重視へと変化しつつあります。

1年おきに開催されるこの大会、次回は2013年10月です。次もまた世界の名だたる大学同士が熾烈な技術競争を展開します。プロジェクトは随時、参加希望者を募集しています。くわしくは下記URLを参照下さい。

<http://www.teamokinawa.jp/>